

コマツ (株) 小松製作所

2021年創立100周年を迎えた建設機械の世界大手メーカー。1955年から海外に進出し、現在は建設・鉱山機械の売上比率の9割近くを海外市場が占める。海外生産比率約6割。連結従業員数約6万人、うち4万人は外国籍。

各国に拠点、社員の約7割が外国籍 ダイバーシティが世界共通の課題

グローバル人事に向けた 多様性への理解・視点

先進国、発展途上国問わず世界中がマーケットです。地域ごとの需要や為替等の変化に対応するため生産拠点を世界各地に設置し、状況に応じて最適な工場から輸出・出荷等をする体制を整えていたことから、新型コロナウイルス感染拡大の影響も最小限に抑えられました。コロナ禍で在宅勤務等、業務のオンライン化を進めつつ、オンライン・対面双方の良さを取り入れて日々の業務を進めております。当社の事業としての強みはICT技術の活用です。従来は圧倒的に高い品質、他社との差別化が明

確な「ダントツ商品」で成長してきましたが、顧客の課題、そして社会の課題を解決する「ダントツソリューション」にも力を入れています。例えば建設・鉱山現場の人手不足。ドローンやAIを活用して、測量や建設機械のオペレーション、施工管理業務が大きく改善しました。今後、様々な地域、場面で同様のソリューションが求められるでしょう。

この10年で外国籍の従業員が2万人以上増加するなど現在もグローバル化が進んでいます。今までは国により制度や文化が異なるため、人事は現地主体でしたが、今、コマツグループ全体で多様な人材が1つのチームとして事業の

成長に貢献できる環境の実現づくりに取り組んでいます。具体的に全世界の社員データの一元的な管理や、それに基づく人材育成施策の展開、働き方の多様化やLGBTQへの理解、女性の活躍推進などです。

当社では、入社後に海外で働く可能性があるため、求める人材は海外に抵抗がなく挑戦しようとする人、環境が変化してもやり抜く力のある人、常に誠実に取り組むことができる人です。現地人材を束ねる役割を担うので、リーダーシップや多様性への理解も持ち合わせていければ理想的です。

当社の業務を理解した上で応募する学生はグローバル志向を持つ

た方が多いものの、近年は、いざ現実になると考えが揺らぐのか、入社後に国内勤務希望に切り替える人も出てきています。学生の皆さんにはぜひ大学在学中に世界を知ったり、未経験の物事に挑戦したりする機会が増えることに期待しています。

大学教育への参画を検討中

当社はICT技術に強みがあり、それを進化させる人材育成のためにも、例えばデータ活用人材を大学と共に育てていきたい。例えばデータサイエンス教育などでは、最新の事例を基にした学びの提供も可能です。

企業 人事部に聞く!

グローバル人材の課題と 大学への期待

世界各国とつながりを持つ企業が求めるグローバル人材とは何か、文科省の「トビタテ!留学JAPAN」を支援するなどグローバル教育に関心の高い2社に聞く。

社内で「転職」や「起業」 手を挙げた人に挑戦権

以前は通信事業が中心でしたが、今はそれに加え、AIやIoT、ビッグデータなどの活用や、ファイブLINEをはじめとしたグループのテクノロジー企業群との連携により、革新的な新規事業の創出に取り組んでいます。

グループの経営理念「情報革命で人々を幸せに」の下、手がける事業を時流に応じて変化させています。スマホ決済(インド)や地図サービス(アメリカ)、セキュリティソリューション(イスラエル)など、海外の有力なテクノロジーサービスの国内展開が多いの

も当社の特徴。グローバルな視野を持つことは全社員に求められます。海外連携担当部署には語学に堪能な社員や外国人社員を配置し、TOEIC800点以上のスコアを持つ社員も多くいます。

人事のポリシーは、手を挙げる人にチャンスを与えること。異動を社内公募するジョブポスティング制度に加え、他部署への異動選考に参加できるフリーエージェンツ制度、審査を通過すれば社の出資で社員が新規事業に挑戦できるソフトバンクイノベーションチャーターを実施しています。PayPayも、社内公募で集まったさまざまな部署、職種出身のメンバーが携わっています。このように多様な

背景を持つ人とコミュニケーションを取って協働する力が求められるため、大学時代も学生同士だけに閉じず、多数の大人と関わる経験があるといえます。

また、会社自体が分野を問わずチャンスに飛び込む体質なので、挑戦心があり変化を楽しめる人が向いています。留学も挑戦の一つでしょう。ただし採用にあたって重視するのは、体験自体ではありません。どれだけやってみようと思っただけのことやチャレンジしたか、そして、学んだことを振り返って言語化できるか。それを繰り返せる人は入社後も成長します。

異分野への挑戦、多様な異分子とのぶつかり合いが当社の成長を

支えてきた側面があるため、目下の課題の一つが、対面機会の減少です。テレワークが普及してから、リアルに顔を合わせなければ生まれない偶発的なコミュニケーションというものが確かに存在することに気づき、あらためて出社の価値を見直しているところです。

在学中に就労経験を

地域や企業と関わる取り組みなど、異なる立場の人との間に生まれるシナジー効果を学生に体験してほしいです。弊社も長期のインターンシップや、ソフトバンクイノベーションチャーターに提供しています。

多様なバックグラウンドを持つ仲間と 挑戦と変化を楽しむ姿勢を求む

ソフトバンク(株)

ソフトバンクグループの中核を担う事業会社であるソフトバンク株式会社は通信事業を基盤に、最新テクノロジーを活用した新規事業など幅広いビジネスを展開。海外子会社を含めてグループ企業数は30社以上。連結従業員数約4万7千人。2021年3月末時点。



コーポレート統括 人事部
採用・人材開発統括部
人材採用部 採用推進課 課長

渡邊 祐紀



人事部
人事グループ 主査

西村 耕治